|  |
| --- |
| **【自立支援型地域ケア会議の具体的な進行について】** |
| 項　目 | 所用時間 | ポイント |
| （１）目的の共有 | 1分 | 〇自立支援型地域ケア会議の目的を全員で共有※世帯の方向性を協議するケース会議ではなく、ケアマネジメントの方向性や地域課題を抽出する会議であることを共有 |
| (2)ケースの説明 | 2分 | ○司会がケース概要を簡潔に説明する |
| 2分 | ○事例提供者が①**事例の選定理由**、②**助言をいただきたい点**など具体的に改善したい点について説明する※単にプラン更新のためといった理由ではなく具体的に |
| (3)課題の共有 | 3分 | 〇課題は優先度の高い項目を掲示し、優先順位をつける〇自立生活の阻害要因となっている解決可能な課題〇生活の質を向上するために解決すべき課題※課題をしっかり共有し、課題に沿った質疑応答 |
| (4)質疑応答 | 10分以内 | 〇共有した課題の解決に必要な助言を確かなものにしていくための質疑応答とする〇課題に沿った必要最低限の質疑応答○事例の理解を深め、認識の一致を行う○どのような生活課題があり、その原因はどこにあるのかを探り、課題解決にはどのような助言が必要なのかを確認する〇助言者は挙手した上で、助言に繋げるための質問を行い、事例提供者またはサービス事業所が回答する〇質問と回答は、「一問一答」で行う |
| (5)助　　　言 | 10分(2分×5名) | 〇今後の支援の方針等、生活課題に対する助言〇具体的な課題解決に向けたケアプランにするための助言※ケアプランへの位置付けが可能か、家族へ提案できるか〇「いつ」「誰が」「どのような内容で」「何の生活課題が解決できるか」を助言いただく |
| (6)会議の振り返り | 15分 | 〇助言内容の具体的実施が可能か否かを確認する〇事例提供者にとって、具体的に何の助言が良かったか、何ができそうかを確認する○助言に対する質問（事例提供者、サービス事業所）〇具体的に、今後どのようにしていくのかを確認する〇地域課題の抽出を視野に入れる |